Operation Guide 2950

CASIO

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。

※デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



●デモ表示の解除

Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ のいずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すと文字板が約２秒間点灯します。

➡暗いところでも、表示を見ることができます。

※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。



ご注意

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※e-DATA MEMORY モード、シティ気温データモード、アラームモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

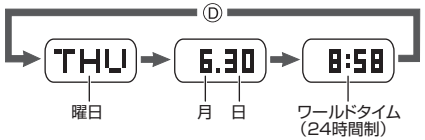
時刻モード



★表示切替について

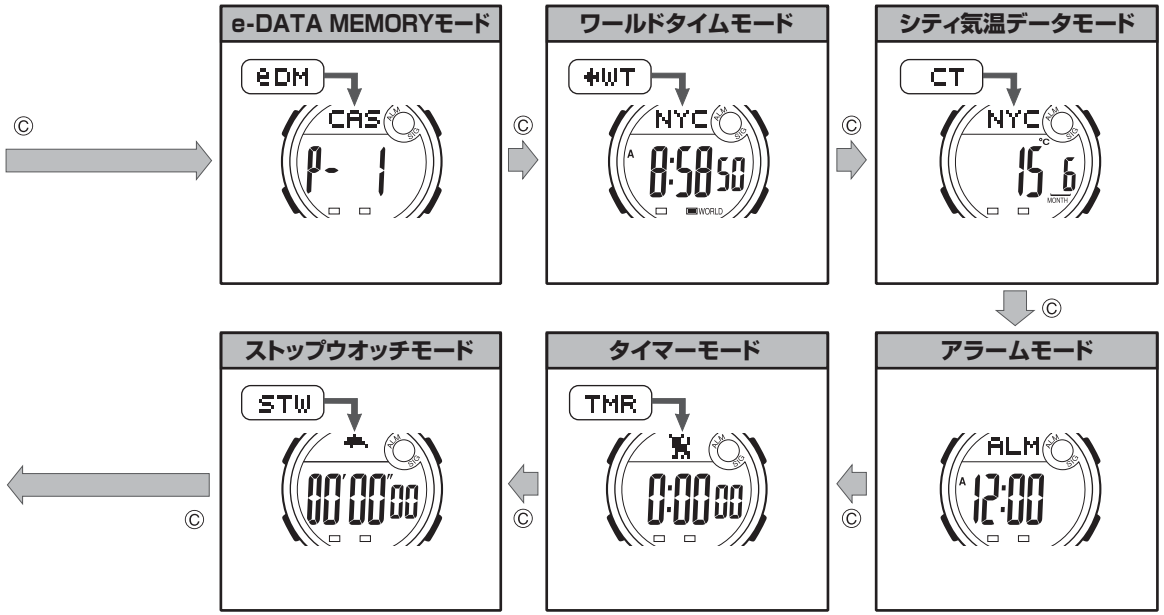
時刻モードのとき、Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

※ワールドタイムはワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻を24時間制で表示します。



<曜日の見方>

SUN：日　MON：月
TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金
SAT：土



e-DATA MEMORYの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、e-DATA MEMORY モードにします。

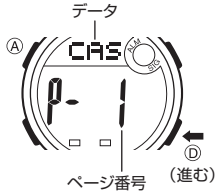
e-DATA MEMORY モードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1 件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1 件あたり 63 文字のデータを入力した場合、5 件まで記憶できます（1 件あたり 64 文字以上のデータは入力できません）。
- 1 件あたり 7 文字のデータを入力した場合、40 件まで記憶できます（1 件あたり 6 文字以下のデータでも記憶できる総件数は 40 件までとなります）。

※e-DATA MEMORY モードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ データのサーチ



e-DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ ボタンを押します

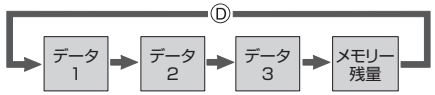
➡Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。

※データを 4 文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に "◀" マークがつきます）。Ⓐ ボタンを押すと表示が止まり、もう一度 Ⓐ ボタンを押すと動きだします。

※データ入力をしたページとメモリー残量のページを表示します。
なお、データを 1 件も入力していないときは、メモリー残量 "100%" のページのみ表示します。

例）データを 3 件入力したとき



■ データを入力する

(1) メモリー残量のページにする



e-DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➡メモリー残量のページになります（右図）。

※ "0%" と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

* 「■ データの修正／消去」参照。

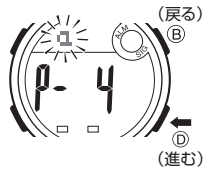
(2) セット状態にする



Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡データの 1 桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット

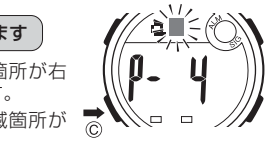


Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（英文字、数字、記号）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(4) セット箇所を選ぶ



Ⓒ ボタンを押します

➡押すごとに点滅箇所が右に 1 つ移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力します。

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　a～z
- 英大文字　A～Z
- 数字　0～9
- 記号　＊－＿@ˆ ／＼＃．：；'，"　ˆ ＆

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡"SET" 表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

■ データの修正／消去

(1) **Ⓓボタンを押して修正／消去したいデータを選びます**

(2) **Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します**

➡データの 1 桁目が点滅します。

(3) データを修正／消去する

★データ修正➡Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（英文字、数字、記号）を表示させます。

★データ消去➡Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。"CLR" 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) **修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます**

※ データを消去すると、後ろのページが 1 ページずつ繰り上がります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（27タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

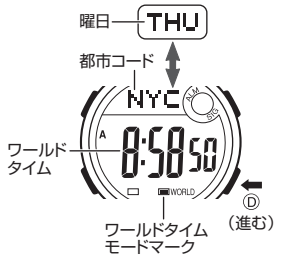
時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24 時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。
※「都市コード」と「曜日」は交互に表示されます。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※ サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	THR	+3.5	テヘラン
HNL	−10	ホノルル	DXB	+4	ドバイ
ANC	−9	アンカレジ	KBL	+4.5	カブール
LAX	−8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	−7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	−6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	−5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	−4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	−3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
BER	+1	ベルリン	ADL	+9.5	アデレード
CAI	+2	カイロ	SYD	+10	シドニー
JRS	+2	エルサレム	NOU	+11	ヌーメア
JED	+3	ジェッダ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2004年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

シティ気温データの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、シティ気温データモードにします。

シティ気温データモードでは、世界30都市の月別平均最低／最高気温を簡単に知ることができます。

※シティ気温データモードに切り替えると、前回選んだ都市のデータを表示します。

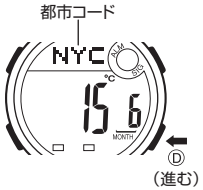
■気温データのサーチ

(1) 都市を選ぶ

シティ気温データモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押して、見たい都市を選びます。
※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。

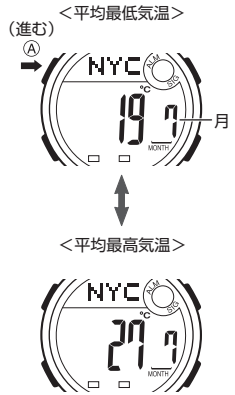
* 表示される都市コードの順番については「■ 都市コード一覧」をご覧ください。



(2) 月を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに1月ずつ進みます。
※ 押し続けると早送りします。
※ 平均最低気温と平均最高気温は交互に表示されます。



アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

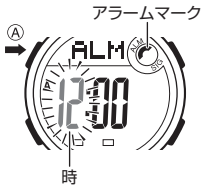
アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると 20 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

(1) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

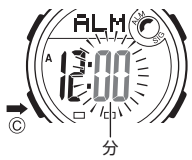
➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。



(2) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

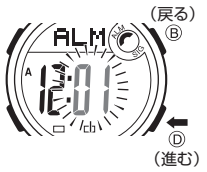
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます 。

※「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

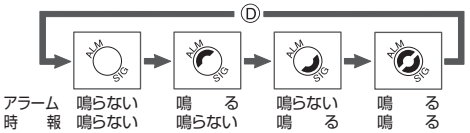
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※ それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。





■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99（60 分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

●1・2 着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

★計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が24時間“0:00”で設定されています。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

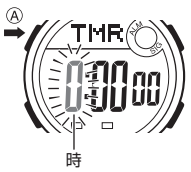
★オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1) セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

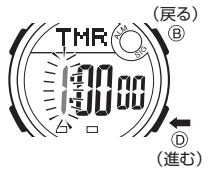
➡「時」が点滅します。



(2)「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

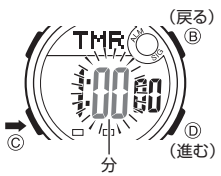
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ １分単位で 24 時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。



(3)「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

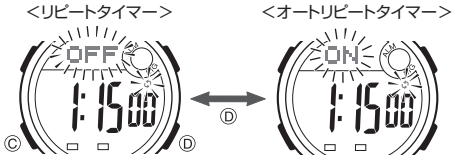
➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。



(4) タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡ⒹボタンをおすごとにオートリピートタイマーのON／OFFが切り替わります。
※ OFF ＝リピートタイマー
ON ＝オートリピートタイマー



(5) セットを終わる

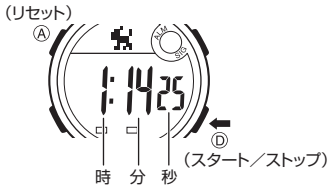
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンをおすごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

CASIO

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

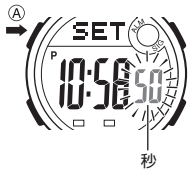
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) **時報に合わせてⒹボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

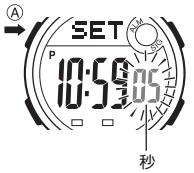
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ON または OFF が点滅します。

Ⓓ ボタンを押します

➡ON または OFF が切り替わります。



※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します（サマータイムについては「■ サマータイム（DST）について」参照）。

(3) ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります（「■ 都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します。

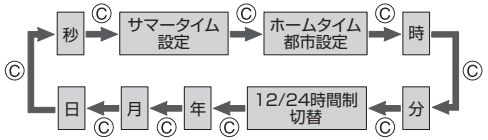
---

(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

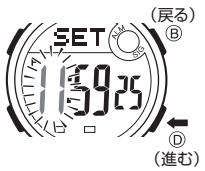




b. **ⒹまたはⒷボタンを押します**

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。